

平成28年度 佐渡市音楽部 活動報告

部長 庄山 佳代子

1 研修の方針

- (1) 実技研修会や授業研究会を通して、教師の音楽表現力や指導技術の向上を図る。
- (2) 音楽における表現活動や鑑賞活動を通して、音楽を愛好する心情と感性を育てる。

2 活動の概要と実際

(1) 音楽科授業研究会

- ① 期日・会場 12月6日(火)七浦小学校
- ② 学年・題材名 5・6学年
題材名 「わたしたちの国の音楽」
教材名 「越天楽今様」「春の海」「羽衣」
授業者 七浦小学校 中川 直子 教諭
指導者 伊野 義博 様 (新潟大学教授)
※ 当日は欠航のため、欠席



③ 協議会での概要

- ・「越天楽今様」と「羽衣」を、価値付けをして子どもに理解させたい。同じ時代の音楽であることをしっかり教えることが大事になる。
- ・音楽的な視点を入れた授業にするため、展開の中で楽器を見せて自由に触らせるなどの工夫が必要である。
- ・今回の授業を土台として、佐渡の伝統芸能についての授業を広めていきたい。

(2) 夏季実技研修会(佐渡市中学校教育研究会音楽部と共催)

- ① 期日・会場 8月5日(金) 金井能楽堂
- ② 内容
ア 佐渡を題材とした教材の開発に向けて(午前)
 - ・指導者 太田 三平 様(新潟市立大形中学校 校長)
 - ・佐渡の伝統芸能を教材化するため、小中9か年を見通した指導計画づくりを行った。イ 能の実技研修(午後)
 - ・指導者 能を識る会の皆様
 - ・大鼓・小鼓・太鼓・笛・謡に分かれて「羽衣」の一部分を練習した。



③ 研修の成果

- ・小中9か年を見通したおよその指導計画と、「鬼太鼓」「能」の略案を作成した。
- ・「羽衣」の最後の有名な節を参加者全員で演奏し、能に親しむことができた。

(3) 第13回佐渡市小学校音楽発表会

- ① 期日・会場 11月10日(木) アミューズメント佐渡
- ② 参加校24校(市内全小学校参加)
特別演奏 山口 幹文 様(真笛(まこぶえ)) 山口 世子 様(チェンバロ)

3 成果と課題

- 授業研究では、伝統芸能に関する授業の一つのあり方を学んだ。さらに、音楽的要素や共同的な学習を取り入れた授業を推進していく。
- 能が盛んな佐渡の特色を生かした研修は4年目となった。一層理解を深め、教材化に向けて小中連携で実践を積み、研修を継続していく。